



『動的平衡は利他に通じる』

福岡 伸一 著

[朝日新書、2025年3月、1,045円]

AはBに通じるといきなり言われてもすぐに納得できないように、一般読者はこの表題を見て、まず「はて？」と思うだろう。万博のいのちに関するパビリオンのプロデューサーで分子生物学者の筆者は、フェルメール、古典文学、哲学、昆虫と、興味の守備範囲は幅広い。

この本の出だしで引用される『方丈記』の「ゆく川の流は絶えずして、しかも、もとの水にあらず」が示すように、万物は流転する。この有名な一節が筆者の唱える生命観である「動的平衡」を見事に言い表しており、我々がたすきを後世に繋いでいることでこの動的平衡が支えられているとして、話を始める。物事はやがて乱雑に崩れてゆくという宇宙の大原則に抗い、我々生命は、利己のためではなく、利他的に動きながらバランスを保ち共存している。これが動的平衡と利他との関連性であると、結論をまず明示。筆者はそのことを、広範囲な日常の出来事を例示として取り上げながら、1ページ完結でやさしく解説してくれる。すると全く関係ないように思えるあらゆることが、実は相互に補完しあいながら繋がっているということに気付かせてくれる。読者が「そうなんだ!」と共感できる、謙虚だが説得力ある語り口が心地良い。

(執筆：協会職員 丸 弘之)

10月といえば、皆さん何を思い浮かべるでしょうか？ 食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋。過ぎた今年7月、東北地方のある街に出張した。そこは見渡す限りの田園の緑の絨毯が色鮮やかに広がっていた。見知らぬ街の風景、普段と異なる環境での仕事は、五感を刺激し思考を活性化してくれる。限られた時間の中で効率的に業務をこなす、予期せぬトラブルにも対応していく過程で、自身の課題解決能力や適応力が鍛えられていることも実感する。もちろんご当地グルメを通じて、その地域の文化や歴史に触れることができるのも大きな楽しみだ。

先日、近所の公園を散歩していると、キンモクセイの甘い香りが漂ってきて思わず深呼吸してしまった。きつと今頃は、朝晩の冷え込みみである緑の絨毯も一面黄金色に輝いている頃だろう。

マンガやアニメを通じて日本に興味を持ち、日本の文化や風習、歴史や価値観を知ったという外国人は多いと聞きます。日本人にとっては当たり前すぎる、おにぎりや制服が憧れの対象とさえなっているとか。なぜ、日本のマンガやアニメがそこまで世界の人々を魅了するのか不思議でしたが、里中満智子さんにインタビューして、その理由が少しわかったような気がしました。

(R)

(T)

ご意見をお待ちしております。

ご意見、ご質問、ご感想などをお寄せください。皆様の声を、積極的に活かしていきたいと考えております。

E-mail : alps2@lifeplan.or.jp

協会への交通案内

- 東京メトロ千代田線・日比谷線／霞ヶ関駅 C4 番出口より直結
- 東京メトロ丸の内線／霞ヶ関駅 B2 番出口より徒歩 3 分
- 東京メトロ銀座線／虎ノ門駅 9 番出口より徒歩 3 分
- 都営地下鉄三田線／内幸町駅 A7 番出口より徒歩 3 分

ALPS Vol.163 2025 年 10 月発行

発行 ● 一般財団法人地域社会ライフプラン協会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2 丁目 1 番 1 号
飯野ビルディング 11 階

TEL : 03-6550-8441 FAX : 03-6206-6401

ホームページ <https://www.lifeplan.or.jp>E-mail alps2@lifeplan.or.jp

編集協力・印刷 ● 株式会社丸井工文社

本書からの無断複写・転載を禁じます。
本誌は再生紙を使用しています。

